

FUKUOKA:MEETING PLACE FOR BUSINESS INNOVATION

東アジアのビジネスハブー福岡

FUKUOKA

Meeting Place Fukuoka

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー

〒810-0041 福岡市中央区大名2-5-31 福岡市交通局庁舎4F

TEL:092-733-0101 FAX:092-733-3100

<https://www.welcome-fukuoka.or.jp>



Meeting
Place
Fukuoka

東アジアと九州の産業をつなぐビジネスハブ コンパクトシティ — 福岡

2,000km圏内に東アジアの主要都市が存在するロケーションと空港から中心市街地へ地下鉄で10分という良好なアクセス手段を持つ福岡市。高速道路や新幹線等、九州全域への交通網が整備され、活発な人流、物流により多様な産業が福岡市に集積します。
グローバルなMICE開催に適した魅力あふれる都市、それが福岡市です。

福岡

主な集積産業
北部九州を拠点とした自動車関連産業、水素エネルギーや半導体開発などの次世代技術産業の推進が活発です。

主な産物
いちご（あまおう）、たけのこ、玉露
日本酒

佐賀

主な集積産業
唐津市・玄海町を中心にクリエイティブ産業の集積を目指しているほか、新エネルギー関連の次世代産業も発展しつつあります。

主な産物
牛（佐賀牛）
イカ
磁器（有田焼）
日本酒

長崎

主な集積産業
漁業をベースとした食産業に加え、洋上風力発電や潮流発電などの海洋エネルギーを活用する取り組みも盛んです。

主な産物
アジ
びわ

熊本

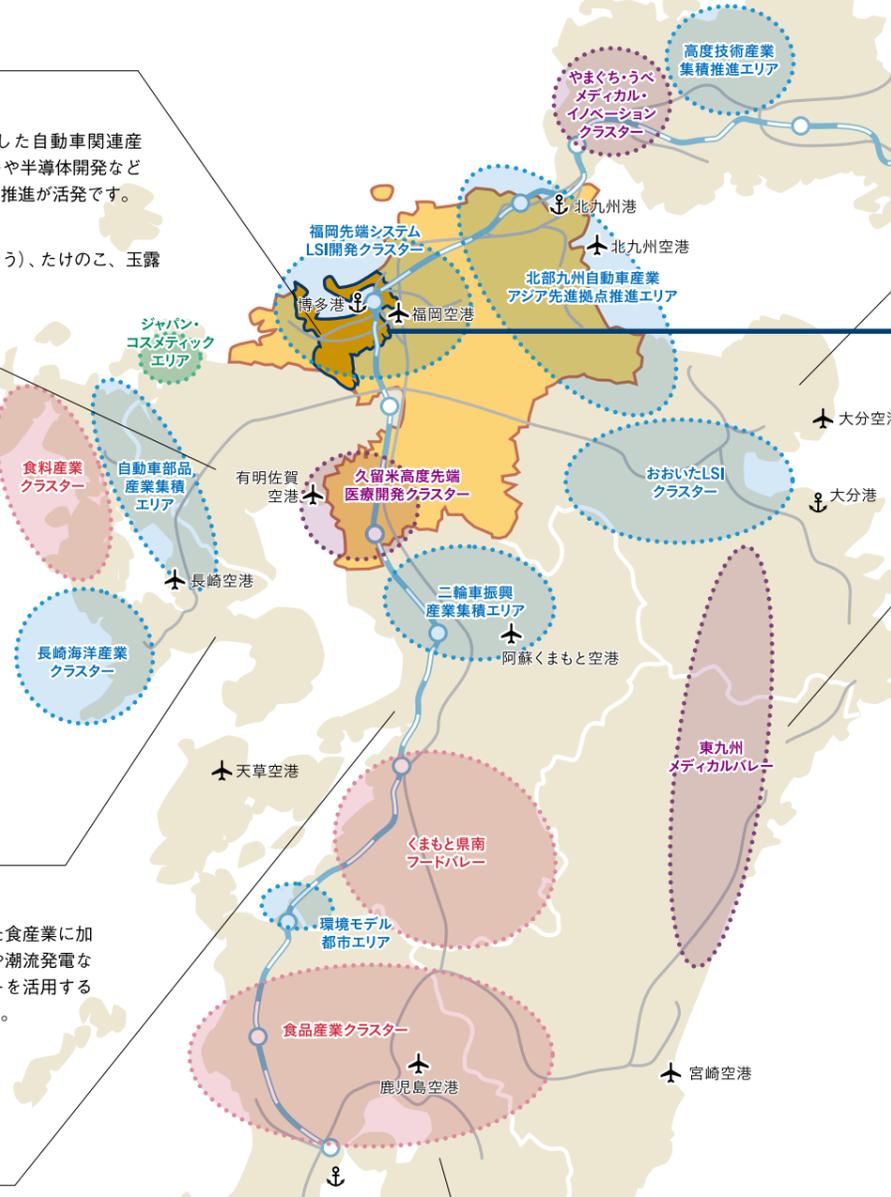
主な集積産業
豊富な農林水産物を活かし、食品・バイオなどの研究開発機能や企業を集積させる「フードバレー」の形成を推進。新興国市場を中心に、今後も着実に拡大が見込まれる二輪車産業の集積拠点です。

主な産物
スイカ、トマト
馬刺し

鹿児島

主な集積産業
日本一の畜産県であるとともに、広大な畑地を生かした農作物などの加工・製造による一大食品産業クラスターを形成。

主な産物
サツマイモ、茶
黒豚
焼酎



山口

主な集積産業
山口・宇部を中心とした地域は医療・医学産業、県東部は自動車・船舶・鉄道などの輸送用機械製造産業の集積地となっています。

主な産物
フグ、蒲鉾

大分

主な集積産業
大手企業・地場企業の集積と蓄積した技術を活かし、国際的な競争力を有する次世代技術（半導体）産業の集積地となっています。

主な産物
アジ（関アジ）、サバ（関サバ）
かぼす、乾椎茸

宮崎

主な集積産業
血液・血管関連の医療機器では世界有数の開発・生産拠点。また、「未来みやざき創造プラン」を掲げ、再生可能エネルギーや次世代自動車、宇宙インフラ整備などの技術集積を推進しています。

主な産物
プロイラー
マンゴー、きゅうり

福岡市

空港、駅、MICE施設、娯楽・宿泊施設が半径約2.5km圏内に集積

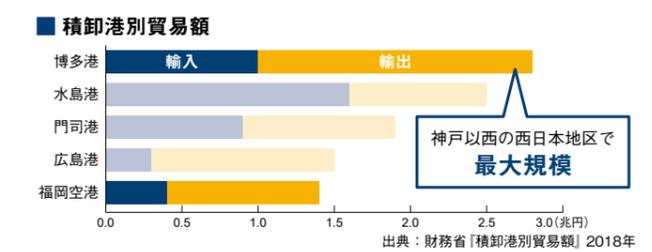
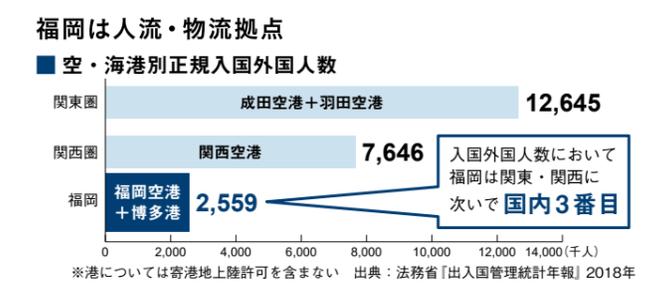
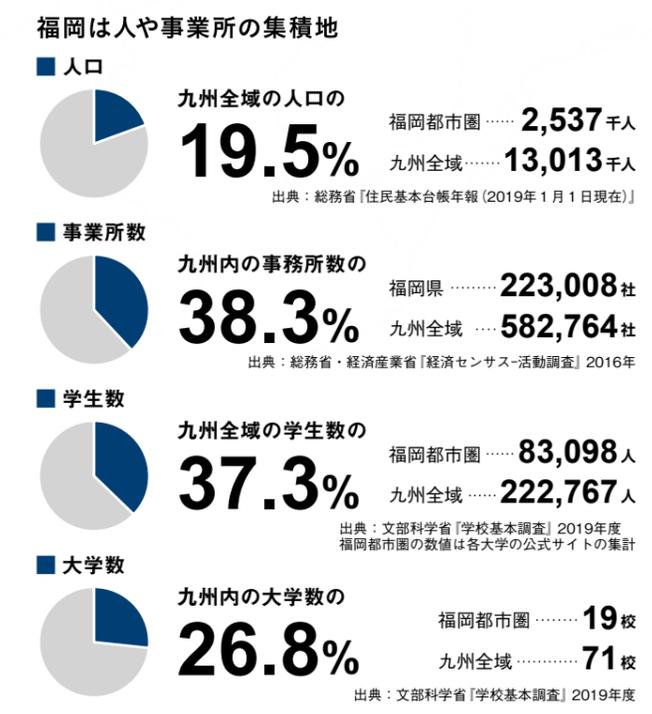
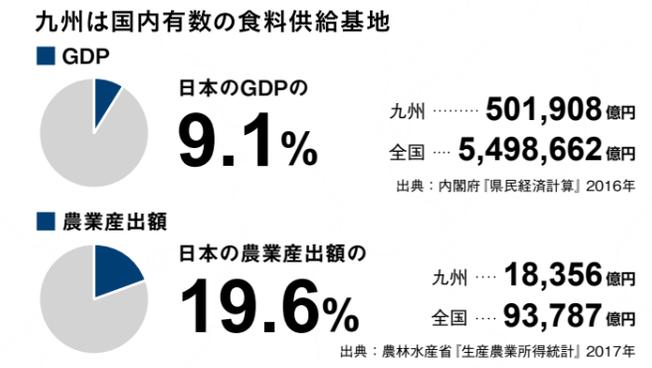


福岡市からの移動時間

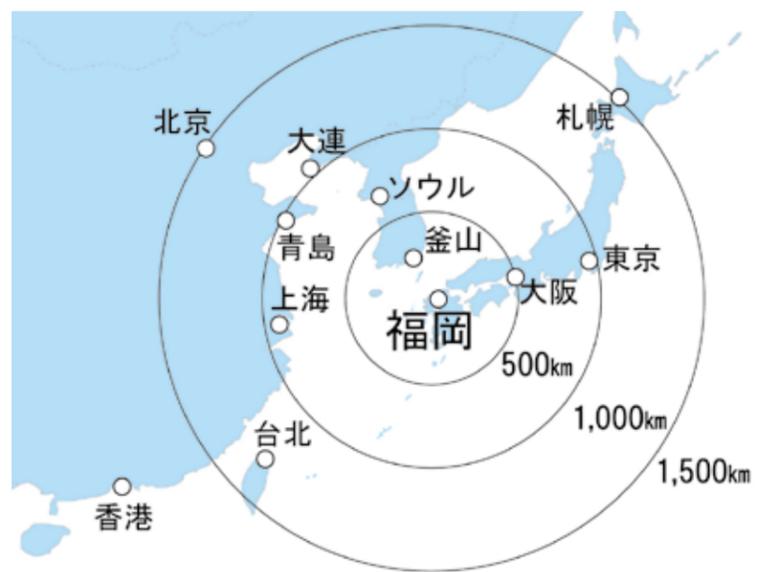
熊本	40分	大分	2時間00分	東京	1時間50分
佐賀	40分	鹿児島	1時間35分	大阪	1時間10分
宮崎	45分	長崎	1時間55分	山口	50分



データで見る九州・福岡 九州、アジアの産業発展を後押しする好条件を備えた福岡



アジアの交流拠点都市 — 福岡



■福岡空港——ソウルへ1時間 上海・東京へ 1時間50分

- 海外約20都市への定期航空路線
- 東京・大阪ほか、国内主要都市に毎日約400便が発着

■博多港——九州・西日本の 海の玄関口

- 物流/九州1位 (全国8位)
- ・国際コンテナ定期航路：約40航路約200便
- ・神戸以西で唯一、北米向け基幹航路が就航
- 人流/外国航路全国1位

人口増加率・開業率日本一!人が集まる都市 — 福岡

今後20年は人口増加が続く成長都市

■福岡市の将来人口推計



「住みやすいまち」といえば福岡市

■2018年度 市政に関する意識調査



■ビジネスマンが選ぶ 住みよいまち

順位	都市
第1位	福岡
2	仙台
3	広島
4	札幌
5	静岡

出典：日経産業消費研究所「ビジネスマン1,000人へのアンケート調査」

高い開業率

■政令指定都市の開業率



開業者の中での若者の割合もトップレベル

■起業者に占める若者(25歳~34歳)の割合



MICE開催に関して、福岡市にはこんな強みがあります

○次世代技術

九州大学学術研究都市・北部九州の自動車産業 **P6-9**



○クリエイティブ

スタートアップ都市 **P10-11**



○食

食材・食物流・食イベント **P12-13**



○医療・医学

先端的研究・大型学会開催実績 **P14-15**



福岡市はMICE開催をワンストップでお手伝いします!

福岡市の地域産業をターゲットとする商談会や各種ビジネスイベントを企画される際は、準備段階から各種ご相談に応じます。また、地域の経済団体や産業団体等とのコンタクトを希望される際は、ご紹介や仲介も承ります。

●交流会設定支援

MICE主催者及び参加者が希望される地域企業や大学等との交流会設定のための各種お手伝いをします。



展示会出展者とバイヤーとの交流会

●サイトビジットの催行支援

MICE主催者及び参加者が希望される地域企業や大学等施設の視察ツアー催行のお手伝いをします。

MICE参加者を対象とする福岡市を中心とした食のサイトビジット実施の様子



ベジフルスタジアム(せり見学)



唐泊(牡蠣体験)

●展示会での商談会支援

地場企業等のグローバル販路拡大の場として海外からの出展者等との商談会設定のための各種お手伝いをします。



展示会での商談会実施

その他詳細は、(公財)福岡観光コンベンションビューロー担当者までお問い合わせください。

次世代技術 九州大学学術研究都市

Next Generation Technology - Kyushu University Academic City -

○ 最先端・日本最大の面積を誇る九州大学伊都キャンパスと学術研究都市



世界的レベルの新たな学術研究都市の創造を目指して、福岡市西部に移転し平成30年9月に完成した九州大学伊都キャンパスは、単一キャンパスとしては日本最大の272haの敷地面積を有し、約2万人の教職員、学生が活動しています。水素エネルギーやナノ・バイオテクノロジー、社会システム・ICT、次世代モビリティなどの分野を中心に、キャンパス内外で研究開発機能の集積が進み、最先端技術を利用した実証実験を数多く手がけています。



福岡市産学連携交流センター (Fias)

産学連携の促進による新産業・新事業の創出を目的として、新事業の実験や事務を行うためのレンタルラボやレンタルオフィス、電子顕微鏡などの分析機器を提供しています。



超高圧電子顕微鏡

世界屈指のオメガ型電子分光装置ならびにSDD型X線検出器を装着した超高圧電子顕微鏡。電子顕微鏡に関わる基盤的・先端的な設備を備える九州大学超顕微解析研究センター内に設置。九州大学以外の研究者・企業等にも装置利用の機会を提供し、電子顕微鏡分野における研究教育の中核・拠点としての役割を担っています。

最先端技術を利用した実証実験



空とぶ車 (イメージ)

九州大学では2019年4月1日「先進電気推進飛行体研究センター」を設置。独自の超伝導技術を基盤とした“空飛ぶ車”や“電動航空機”の研究に注目が集まっています。



燃料電池

水素と酸素の化学反応で発電する燃料電池 (写真は九州大学内に設置している産業用燃料電池実証機)。多様な使用環境下での技術実証・耐久性試験を実施しています。



有機光エレクトロニクス実用化開発センター (i³-opera)

蓄積された豊富なスキルと、基板洗浄・成膜・特性評価までの一連の工程を施設内で完結できる有機ELデバイス評価プラットフォームを活かし、企業様の製品開発やマーケティングの支援を行っています。

水素関連製品の開発支援

●水素エネルギー国際研究センター

水素社会の実現という大きな目標に向け、九州大学の水素拠点全体の管理運営組織として、技術課題の解決や新技術の開発を行っています。水素エネルギー分野の高度人材育成や、基礎基盤研究から産学連携研究を実施し、産学官と地域が一体となったプログラムを展開しています。

●次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)

クリーンで高効率な発電システム「固体酸化物形燃料電池」をはじめとする次世代型燃料電池の本格的な実用化を目指し、耐久性や信頼性の確保、さらなる高性能化など、様々な課題の克服に向けて、開発企業との緊密な産学連携活動に取り組んでいます。

●カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER)

文部科学省「世界トップレベル研究拠点プログラム」に採択。低炭素社会を目指し、国内外のトップレベルの研究者が連携して異分野融合研究を展開しています。

●水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

水素ガス環境下で使用するバルブ、センサー等の小型部品から、自動車・水素ステーション用の水素貯蔵容器まで、あらゆる水素関連製品の耐久性試験を行うとともに、民間企業との共同研究開発等を通じ、企業の水素エネルギー新産業への参入を支援しています。



九州大学水素ステーションと MIRAI



建物外観 (中央より左側: I²CNER、右側: NEXT-FC)



水素エネルギー製品研究試験センター (HyTReC)

福岡市水素リーダー都市プロジェクト

福岡市は、水素社会の実現に向けて、水素エネルギー関連産業の振興を目的とした「水素リーダー都市プロジェクト」を推進しています。

プロジェクトの第1弾として、中部水処理センターにおいて下水汚泥を処理する過程で発生するバイオガスから水素をつくり、燃料電池自動車 (FCV) へ供給する世界初の水素ステーションを2015年3月に開設しました。

※この取り組みは、国土交通省の2014年度「下水道革新的技術実証事業 (通称: B-DASH)」に採用されたものです。



燃料電池自動車 (FCV)

水素エネルギーの実用化

- 地場企業・福岡県・福岡市が燃料電池自動車 (FCV) を導入
- 水素ステーションを県内10ヵ所に設置 (市内4ヵ所)
- 下水バイオガス水素ステーション (福岡市中部水処理センター)
- 下水バイオガス水素 (グリーン水素) を活用したトラック・バイクの研究・開発

福岡市水素リーダー都市プロジェクト



下水バイオガス 水素ステーション (福岡市中部水処理センター)

福岡市中央区荒津2-2-1

世界
初

下水汚泥を処理する過程で発生するバイオガスからCO₂フリーの水素をつくり、燃料電池自動車 (FCV) に供給する世界初の取り組みです。

次世代技術 北部九州の自動車産業

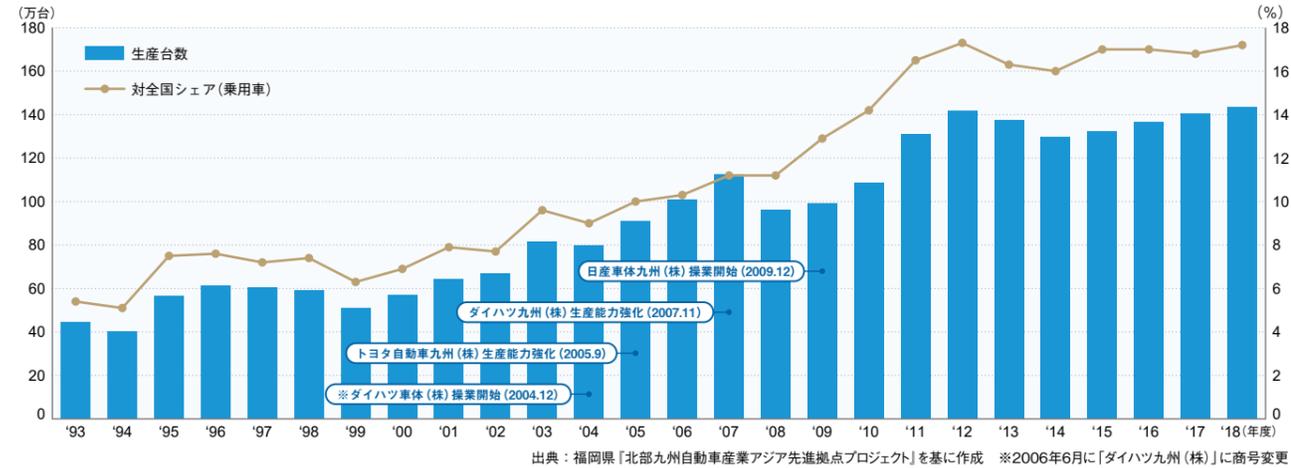
Next Generation Technology -Automobile Industry-

世界最高品質を生み出す自動車メーカーの集積地 — 福岡

北部九州は自動車産業の一大集積地、アジアの先進拠点

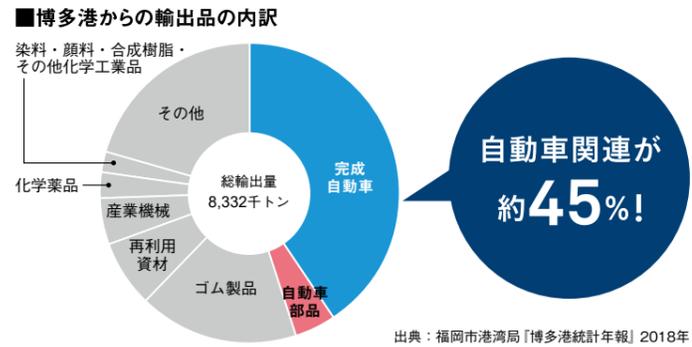
日産自動車九州(株)、トヨタ自動車九州(株)、ダイハツ九州(株)、日産車体九州(株)の自動車メーカー4社が立地する北部九州。年間159万台の生産能力を持つ集積拠点として成長しました。アジアの部品メーカーとの取引も活発で、工場見学から商談までビジネスチャンスが広がります。

北部九州自動車生産の推移



自動車関連物流拠点の博多港

2018年の1年間に博多港から輸出された貨物量は8,333千トン。完成自動車3,383千トンと自動車部品383千トンを含めると、計3,766千トンで全体の45.2%を占め、自動車産業の重要な輸出港となっています。



ITS (Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム) 先進都市

にしてつバスナビ

路線バスに装備した車載器のGPS機能を用いてバスの位置を計測し、リアルタイムで路線バスの運行状況や現在位置をお知らせするシステムを運用しています。



都心循環BRT (Bus Rapid Transit: バス高速輸送システム) の導入

接続バスの導入、シンボリックなバス停の整備、鉄道や路線バスとの乗継強化などにより、従来のバスよりも速く、時間通りにたくさんの人を運ぶ、分かりやすく使いやすいシステムを2016年度より導入しています。



北部九州に立地する自動車メーカーと自動車産業研究機関

福岡県内に576社の自動車関連企業を有し、九州の自動車関連企業のおよそ47%が福岡県に集積しています。



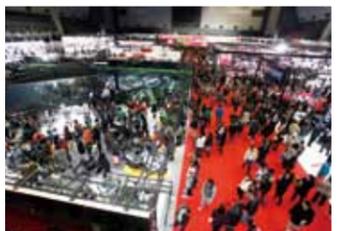
第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡

2018年5月、福岡国際会議場・福岡サンパレスにおいて、過去最多となる27ヵ国3,518名の参加者のもと、第16回アジア太平洋地域ITSフォーラム2018福岡が開催されました。ITS (高度道路交通システム) の産学官のリーダーが一同に会し、最先端のAI・ビッグデータ・IoTサービスを活用したITS技術やサービスについてのプレゼンテーションや世界をリードするITSの最新技術や自動運転車両の展示が行われました。



福岡モーターショー

東京モーターショーと同じく2年に1度開催される福岡モーターショーは、2019年12月開催の来場者数が4日間で11万8,533人となりました。マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡国際会議場の3会場で開催されるイベントの中でも群を抜く規模に成長しています。150万台を超える自動車生産能力を持つ北部九州から発信することで、国内外の技術者との交流の場ともなっています。



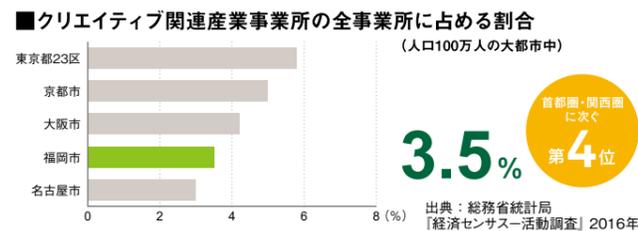
クリエイティブ

Creative Industry

○若者率No.1 活力あふれるクリエイティブ都市 — 福岡

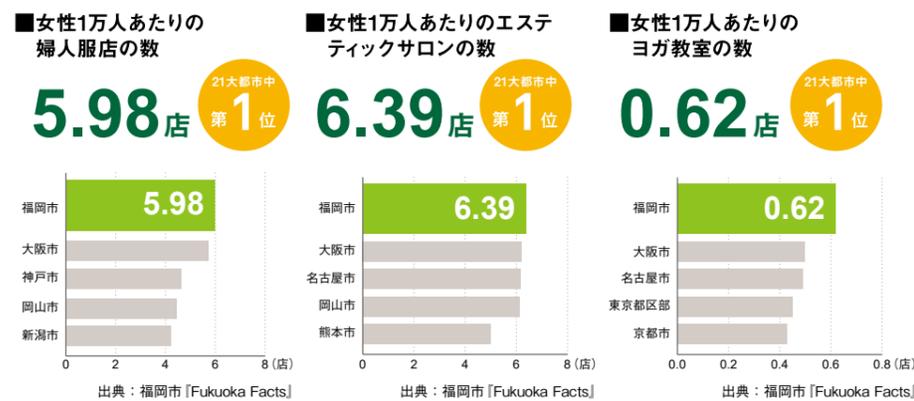
世界に誇れるクリエイティブ都市 — 福岡

もとよりITなど情報関連産業が盛んであった福岡市は、その知識をゲーム産業、映像、アプリ開発などクリエイティブ産業で発揮しています。また、行政もクリエイティブ産業を発展させるために専門部署を置き、国内・海外企業とのビジネス創出・拡大に結びつくように様々な支援をしています。



福岡市は20代の比率が高く、オシャレで購買力が旺盛

福岡市はファッション・美容に強い関心を持つ若者率（15～29歳）が**全国政令指定都市中第1位**。ファッション・美容関連産業を創業する経営者は30代中心。福岡市が創業特区となったことで、創業増加・ニュービジネスの創造が進んでいます。



福岡市のスタートアップ（起業・創業）支援事業

2012年に「スタートアップ都市ふくおか宣言」を行い、2014年には国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」に選ばれるなど、グローバル創業都市として勢いづく福岡市は、日本一創業しやすい街を目指し、様々な創業支援事業を行っています。



Fukuoka Growth Next

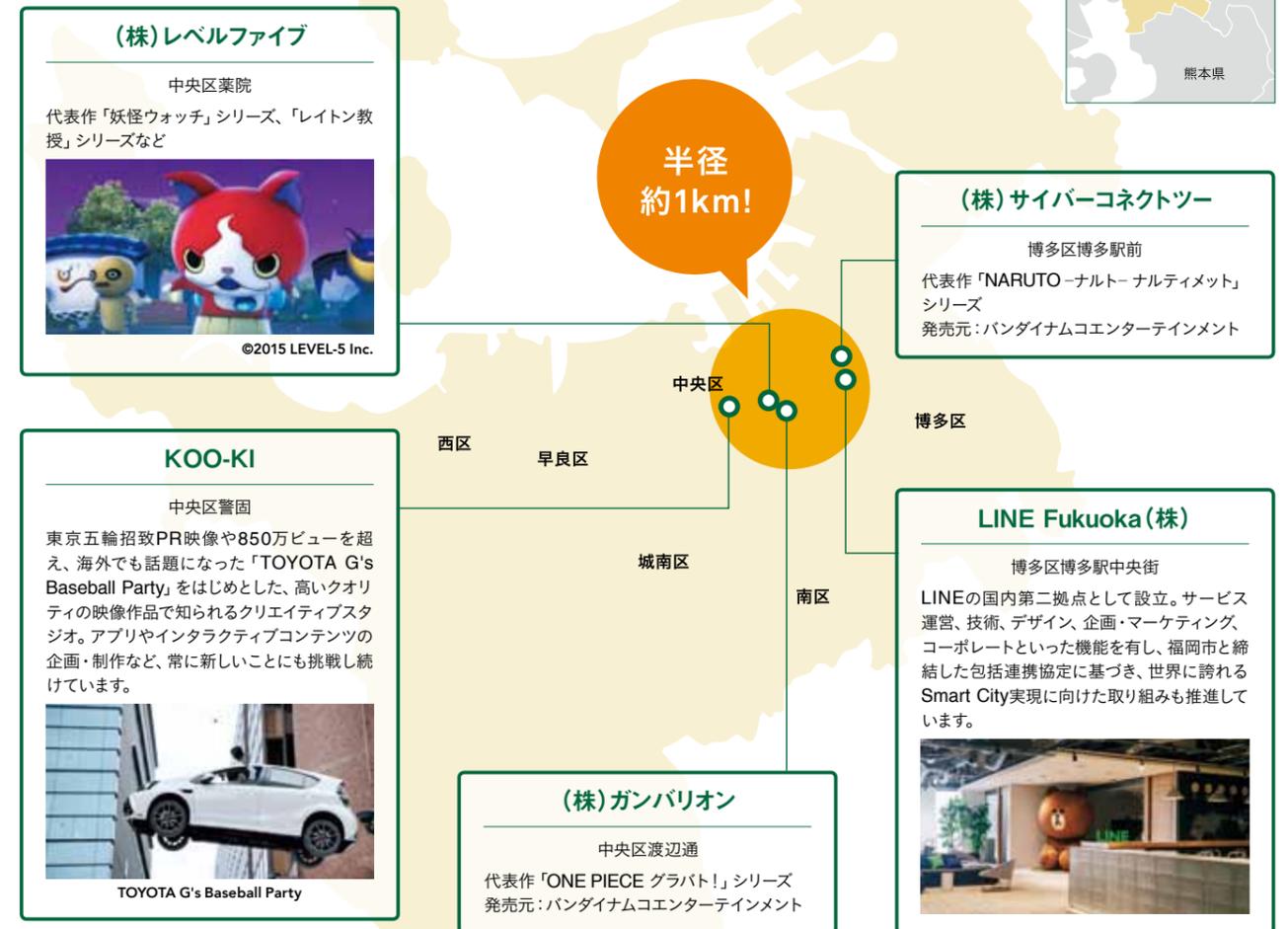
Fukuoka Growth Nextは、豊かな未来を創造するアイデアを持ったスタートアップを支援する福岡市の官民共働型の施設です。施設内には、創業を志す方をサポートするため、起業の準備や相談ができる空間「福岡市スタートアップカフェ」やコワーキングスペースが設置されています。



Engineer Cafe —Hacker Space Fukuoka—

Engineer Cafeは、エンジニアがより先鋭的なチャレンジやスキルの幅を広げることができるように、という想いから、官民一体で生まれたエンジニアのための施設で、コワーキングスペースやカフェを備えています。

クリエイティブ産業を牽引する福岡市の企業



福岡市の主なスタートアップ企業

会社名	所在地	創業年	事業内容
KAICO (株)	西区九大新町	2018年4月	九州大学独自のカイコと技術を用いた機能性タンパク質分子の開発
メドメイン (株)	中央区赤坂	2018年1月	医療ソフトウェア・クラウドサービスの企画・開発・運営および販売
サウレテクノロジー (株)	中央区大名	2017年1月	VLC (可視光通信) の受光器解析システム等の開発
(株) tsumug	中央区大名	2015年12月	シェアリングエコノミー事業
ドレミング (株)	中央区天神	2015年6月	生産性が向上する画期的な勤怠管理・給与計算システムの開発と事業展開
(株) オルターブース	中央区舞鶴	2015年3月	フルスタック開発、フルマネージドサービス、FoodTech事業・ITソリューション
(株) kyulux	西区九大新町	2015年3月	次世代有機EL発光材料の開発・製造・販売
(株) トルビズビオン	中央区大名	2014年4月	ドローンコンサルティング、ドローン空撮・測量、シェアリングエコノミー事業等
(株) Qurate	中央区大名	2014年2月	ソーシャルチャネルでデジタルマーケティングコンテンツをリサーチ、プラン、クリエイト、公開、および測定
(株) スカイディスク	中央区舞鶴	2013年10月	製造業向けAIサービスの提供
(株) YAMAP	博多区綱場町	2013年7月	登山アウトドア向けWEBサービス運営・スマートフォンアプリ開発
(株) ウェルモ	中央区天神	2013年4月	介護福祉領域における意思決定補助人工知能サービス開発、中核都市以上向け介護サービス情報プラットフォーム提供等
(株) グッドラックスリー	中央区天神	2013年2月	ブロックチェーンのプロダクト・サービス企画・開発・運営、スマートフォンゲーム・アプリの企画・開発・運営等
(株) グルーヴノーツ	中央区今泉	2011年7月	機械学習を誰でも簡単に利用できる「MAGELLAN BLOCKS」のサービス提供およびコンサルティング等
(株) QPS研究所	中央区天神	2005年6月	人工衛星、人工衛星搭載機器、精密機器、電子機器並びにソフトウェアの研究開発、設計、製造、販売

食

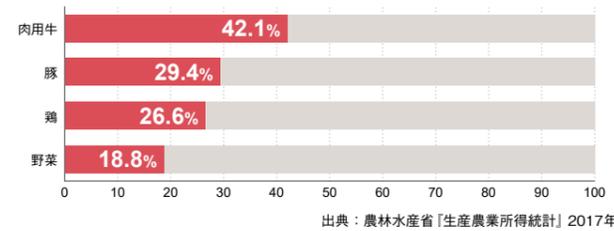
Food Industry

九州の食を福岡から世界へ

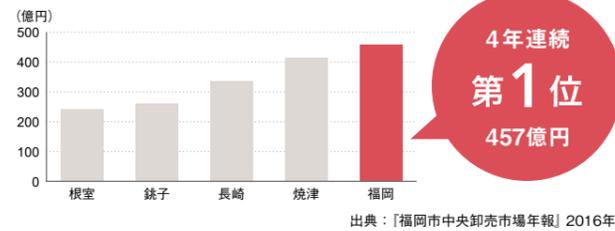
九州は食材の宝庫

九州の農業産出額は**全国の約2割**を占め、日本を支える食料生産基地です。
また、全国主要漁港の中で水産物の取扱金額は福岡が**全国1位**で、とれたての約300種類の海の幸が福岡の市場に並びます。

■九州の農業産出額の全国シェア



■全国主要産地市場（漁港）取扱高



多彩な食文化都市 — 福岡

ミシュランガイドの名店

ミシュランガイド福岡・佐賀版に、福岡市では三つ星が2軒、二つ星が8軒、一つ星が32軒認定されました。



ミシュラン三つ星店「鮨 行天」

日本一の屋台数

福岡市で営業する屋台の数は100軒以上。川沿いや通り沿いに多くの屋台が連なる風景は観光スポットとしても人気を博しています。



日本一の数を誇る屋台

海外進出する九州・福岡の食

海外での日本食ブームに乗り、海外、特にアジアへ出店する九州・福岡の企業が増加。とんこつラーメンや水炊き等福岡独自の食文化をはじめ、九州産食材を販売する食品卸業者のアジア進出も目立っています。

事業内容	社名	店名	進出地域
とんこつラーメン	(株)力の源カンパニー	博多一風堂	アメリカ(ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス)、シンガポール、韓国(ソウル)、中国(香港、上海、北京、広州、深圳、成都、重慶)、台湾(台北)、オーストラリア(シドニー)、マレーシア(クアラルンプール)、タイ(バンコク)、フィリピン(マニラ)、インドネシア(ジャカルタ)、イギリス(ロンドン)、フランス(パリ)、ミャンマー(香港)、アメリカ(ニューヨーク)、台湾(台北)
	(株)一蘭	一蘭	中国(香港)、アメリカ(ニューヨーク)、台湾(台北)
	(株)ウインズジャパン	博多一幸舎	インドネシア(ジャカルタ、バリ)、シンガポール、中国(広州、北京、深セン、香港、上海)、台湾(台北、新竹)、アメリカ(トランス、コスタメサ)、オーストラリア(メルボルン、ホーンズ、パース)、フィリピン(セブ)、タイ(バンコク)、ブラジル(サンパウロ)、カナダ(トロント)
そば	(株)ウエスト	生そば あずま	タイ(バンコク)、アメリカ(ニュージャージー、ニューヨーク)
とんかつ	アトム(株)	和心とんかつ あんず	台湾(新竹、台北、新北、桃園、台中、高雄台南)、韓国(ソウル)、シンガポール、マレーシア(クアラルンプール)、中国(上海)
水炊き・鶏料理	トリゼンフーズ(株)	博多華味鳥	中国(大連)、マレーシア(クアラルンプール)、ミャンマー
居酒屋	JR九州フードサービス(株)	うまや	中国(上海)
レストラン	ロイヤルホールディングス(株)	ロイヤルホスト	台湾(台北)、インドネシア(ジャカルタ)、タイ(バンコク)、フィリピン(マニラ)
	(株)リンガーハット	長崎ちゃんぽん	タイ(バンコク)、アメリカ(ハワイ、カリフォルニア)、中国(香港)、台湾(台北)、ベトナム(ホーチミン)、カンボジア(プノンペン)
	(株)ピエトロ	ピエトロ	アメリカ(ハワイ)、シンガポール
	コレゴ&パートナーズ(株)		カンボジア(プノンペン)
持ち帰り弁当	(株)プレナス	ほっともっと	中国(北京)、シンガポール、韓国(ソウル)、オーストラリア(シドニー)、台湾(台北)、アメリカ(サンマテオ)、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア
辛子明太子	(株)ふくや		シンガポール
	(株)やまやコミュニケーションズ		韓国(ソウル)、アメリカ(トランス)、台湾(台北、桃園)、中国(大連)
健康食品	(株)やずや		ベトナム(ハノイ、ホーチミン)
スイーツ	ラ・ヴィ・アン・ローズ		ミャンマー(ヤンゴン)

出典：各企業webサイト

九州中の食材が集まる福岡市



朝、福岡で水揚げされた新鮮な魚介類が、夕方にはアジアの食材へ!
九州の食材は**2時間以内**で大消費地の福岡市に集まります。福岡空港からの貨物便で夕方には香港のホテル、飲食店に届きます。

福岡中央卸売市場青果市場（ベジフルスタジアム）



九州内各産地のブランド商品と提携し、空輸にその色鮮やかな船舶CAコンテナによる鮮度保持技術開発、関係機関の協力によるアジアマーケットの開拓、法律による裏付け、コールドチェーンによる品質確保と残留農薬検査の充実による安全・安心の確保、アジアに最も近い立地特性などを活かし、アジア圏をはじめとする海外の市場への輸出を進めています。



2016年2月に開場した福岡中央卸売市場青果市場（ベジフルスタジアム）は、新鮮かつ安全・安心な青果物を福岡都市圏内外に供給しています。大量物流、小売業者対応など取引形態に合わせた「機能的な施設配置」、場内物流の効率性・安全性を考えた「コンパクトな施設計画」、食の安全性の確保を考えた「コールドチェーン（低温物流）の充実」を特徴とした、国内最先端の市場です。



定温卸売場

卸売場の大半（84.4%）を密閉式の定温卸売場として整備しており、保冷された状態で出荷された青果物は、市場に到着した後も一定の温度で管理されることになり鮮度が保たれます。



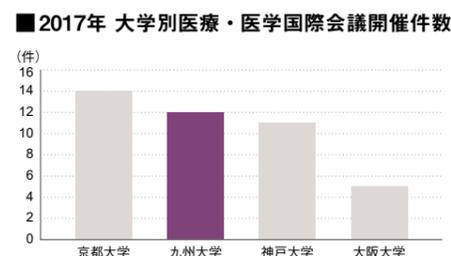
医療・医学

Medical Technology

○ 医学分野における国際会議の豊富な開催実績

九州大学は大学トップレベルの医療・医学の国際会議開催実績を誇ります

2018年の医学分野における国際会議開催実績で、九州大学は全国の大学の中で、京都大学に次ぐ開催実績を誇ります。



大学別
第2位

出典：日本政府観光局 (JNTO) 国際会議統計 2018年

福岡県内の医療機関とおもなMICEの取り組み

九州大学病院

大学院初の「小児救命救急センター」開設や九州大学先端医療イノベーションセンター開設など、九州の最先端医療をリード。近年は国際医療部を開設し、外国人の治療にあたる受入拠点の役割を担っています。



インテリジェント手術室 (先端医療イノベーションセンター)

久留米大学病院

高度救命救急センターの認定を受け、福岡県ドクターヘリの基地病院として活躍。特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院、厚生労働省臨床研修指定病院等の認定を受け、高度な先進医療を目指しています。



久留米大学病院

福岡大学病院

地域医療や最先端医療に取り組むかたわら、2001年7月に「臨床研究支援センター」を開設。2011年にはリハビリ支援のために「ロボットスーツHAL」を導入。2015年4月にHAL専用リハビリセンターが開設されました。



福岡大学病院

福岡市立こども病院

2014年秋、福岡市東区に新病院が完成。小児救急医療や周産期医療における高度先進専門医療を行っています。将来的には海外からの患者や外国人研修医の受け入れなど、国際的な医療機関を目指しています。



福岡市立こども病院

第26回 日本医学会総会

2003年4月4日から3日間、福岡国際会議場他で第26回日本医学会総会が開催され、3万3,000人が参加しました。4年に1回開催される日本医学会総会とは異なり、会場を東京・大阪・京都・名古屋の4大都市に限定していましたが、4大都市以外で開催されたのは福岡市が初めてです。会頭には九州大学の杉岡洋一総長（当時）が就任し、九州大学や久留米大学の教授がほかの要職を務めました。



第6回アジア神経精神薬理学会 (AsCNP2019)

2019年10月11日から3日間、福岡国際会議場及び福岡サンパレス ホテル＆ホールにて開催され、海外からの参加者約600名を含む、約1,600名が参加しました。同会議においては、アジア各国の研究者、医療従事者、製薬企業関係者、規制当局関係者等が一堂に会し、中枢神経系薬理に関する広い分野での革新的な研究成果や最新情報が紹介されました。

第29回日本医療薬学会年会

2019年11月2日から3日間、福岡国際会議場・マリンメッセ福岡・福岡サンパレス ホテル＆ホール・ホテル日航福岡において開催され、約8,400名が参加しました。「新しい時代を担う医療薬学のこれから～薬学の英知の結集～」をメインテーマとして、複雑化・高度化していく医療技術を踏まえた、新しい時代を担う医療薬学について議論が展開され、国際シンポジウム、ワークショップ、共催セミナー、市民公開講座などが行われました。

先進医療を実施している福岡県の主な医療機関



医療・医学関連のMICE開催実績

開催年月	会議	会場	参加者数
2003年4月	第26回日本医学会総会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・ヒルトン福岡シーホーク・九州大学百年講堂	33,000人
2008年3月	第72回日本循環器学会総会・学術集会	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡・福岡国際センター	16,000人
2013年4月	第113回日本外科学会定期学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター	13,677人
2013年6月	第58回日本透析医学会学術集会・総会	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡・福岡サンパレス・福岡国際センター	16,163人
2016年4月	第18回日本医療マネジメント学会学術総会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	3,772人
2016年5月	日本麻酔科学会第63回学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡	9,000人
2016年5月	第24回アジア小児外科学会 (AAPS2016)	ヒルトン福岡シーホーク	1,155人
2016年5月	第25回国際小児内視鏡外科学会 (IPEG2016)	ヒルトン福岡シーホーク	1,723人
2016年9月	一般社団法人日本脳神経外科学会第75回学術総会	福岡国際会議場・マリンメッセ・福岡サンパレス	6,036人
2016年10月	第23回日本歯科医学会総会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	9,197人
2016年12月	第57回日本肺病学会学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター	4,654人
2017年4月	第61回日本リウマチ学会総会・学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター	6,000人
2017年5月	第14回アジア大洋州小児神経学会議	ヒルトン福岡シーホーク	1,000人
2017年7月	第25回日本乳癌学会学術総会	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡	6,000人
2017年10月	第25回日本消化器関連学会週間	福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター・アクロス福岡	22,616人
2017年11月	第56回日本臨床細胞学会秋期大会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	3,500人
2018年3月	第52回糖尿病学の進歩	福岡国際会議場・福岡サンパレス	3,500人
2018年3月	第43回日本脳卒中学会学術集会・第47回日本脳卒中の外科学会学術集会・第34回スバズム・シンポジウム (STROKE2018)	福岡国際会議場・福岡サンパレス・福岡国際センター	6,000人
2018年4月	第61回日本形成外科学会総会・学術集会	ホテルニューオータニ博多・電気ビル共創館	3,291人
2018年4月	第121回日本小児科学会学術集会	福岡国際会議場	6,595人
2018年6月	第55回日本リハビリテーション医学会学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	6,314人
2018年11月	第9回アジア小児感染症学会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	1,876人
2018年12月	第31回日本内視鏡外科学会総会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡	7,024人
2019年2月	第33回日本がん看護学会学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡	4,760人
2019年8月	第29回日本外来小児科学会年次集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	3,090人
2019年9月	第53回日本作業療法学会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	4,124人
2019年9月	第49回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	4,690人
2019年10月	第6回アジア神経精神薬理学会	福岡国際会議場・福岡サンパレス	1,533人
2019年10月	第57回日本癌治療学会学術集会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡	6,867人
2019年11月	第29回日本医療薬学会総会及び年会	福岡国際会議場・福岡サンパレス・マリンメッセ福岡	8,408人